

第二十二條 削除

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ノ特科ハ現ニ在學スル生

徒ノ在學ノ間仍從前ノ規定ニ依ル

朝鮮ニ於ケル官立師範學校ニハ昭和六年三月三十一日迄仍從前ノ

規定ニ依ル特科ヲ置クコトヲ得

昭和四年五月二十四日御沙汰ニ依リ返上

拓殖省官制

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付

セラレムコトヲ請フ

昭和四年四月一日

内閣總理大臣男爵田中義一印

内閣
林 寄 閣

勅令第 號

拓殖省官制

第一條 拓殖大臣ハ朝鮮總督府臺灣總

督府關東廳樺太廳及南洋廳ニ關スル

事務ヲ統理シ南滿洲鐵道株式會社及

語 院

東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

拓殖大臣ハ涉外事項ニ關スルモノヲ

除クノ外移植民ニ關スル事務及海外

拓殖事業ノ指導獎勵ニ關スル事務ヲ

管理ス

拓殖大臣ハ前項ノ事務ニ付外務大臣

ヲ經由シ領事官ヲ指揮監督ス

第二條 拓殖省ニ左ノ三局ヲ置ク

管理局

殖産局

拓務局

第三條 管理局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌

ル

一 他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク
ノ外朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳

樺太廳及南洋廳ニ關スル事務

二 拓殖大臣ノ定ムル地域ニ於ケル

移植民ノ保護指導ニ關スル事務

第四條 殖産局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌

ル

一 朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ノ産業、交通、通信、金融、租稅及專賣ニ關スル事務

二 南滿洲鐵道株式會社及東洋拓殖株式會社ノ業務ノ監督ニ關スル事務

務

三 拓殖大臣ノ定ムル地域ニ於ケル

拓殖事業ノ指導獎勵ニ關スル事務

第五條 拓務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌

ル

一 他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク
ノ外移植民ニ關スル事務

二 他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク
ノ外海外拓殖事業ノ指導獎勵ニ關
スル事務

第六條 拓殖書記官ハ專任十五人ヲ以
テ定員トス

第七條 拓殖省ニ事務官專任九人ヲ置
ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌

ル

第八條 拓殖省ニ技師專任十三人ヲ置

ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌

ル

第九條 拓殖省ニ理事官專任三人ヲ置

ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌

ル

第十條 拓殖省ニ通譯官專任四人ヲ置

ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ通譯ヲ掌

ル

第十一條 拓殖屬ハ專任八十二人ヲ以

テ定員トス

第十二條 拓殖省ニ技手專任三十人ヲ
置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術
ニ従事ス

第十三條 拓殖省ニ通譯生專任十二人
ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ通
譯ニ従事ス

第十四條 第八條及第十二條ノ職員ハ
之ヲ外國ニ駐在セシメ帝國領事館附
ヲ命ズルコトヲ得

相
密
附

附則

本令ハ昭和四年六月一日ヨリ之ヲ施行

ス

明治四十一年勅令第百七十九號及大正

九年勅令第百五十號ハ之ヲ廢止ス

昭和四年五月二十四日御沙汰ニ依リ返上

各省官制通則中改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付

セラレムコトヲ請フ

昭和四年四月一日

内閣總理大臣男爵田中義一印

區
密
亮